

令和3年度事業計画書 - あじさい園居宅介護支援事業所 -

テーマ：自然災害や感染症対策により、入所者・利用者の安心・安全な望む暮らしの支援と地域住民と支え合う仕組みづくりを目指す

サブテーマ：視野を広げた地域の高齢者・資源の実情など幅広くリサーチを行い、備えておくことで在宅サービスの推進に努める

1. 適切な手法の実施で公平中立なケアマネジメント支援を行う

- ①アセスメント、カンファレンスの開催は本人、家族の意向を具体化し自立支援計画に従い、ケアマネジメントを実施する。（虐待の発生または再発防止をはかり、情報の共有化）
- ②障害生活、生活保護、成年後見制度等は、社会保障制度の活用により困難事例の解決を図る。
- ③自然災害、感染症など緊急時の対応、対応体制の具体的訓練を実施する。地域見守りネットワークへの参画、災害、緊急時対応のための名簿や地域資源を活して、関係者と共有する。
- ④ICT（スマートフォンなど）の活用にて業務の効率化。
- ⑤情報収集時の個人情報管理に細心の注意を払う等、法令遵守し適正に行う。

2. 医療、介護、障害、福祉サービスの多職種連携、協働を実施する

- ①入退院時や通院時でもできるだけ同行し情報連携を図る。
- ②在宅情報共有ネットワークに参加し主治医や多職種との連携共有。
- ③病院でのカンファレンス参加、地域連携室の入退院時に情報交換より療養生活のケア方針を共有する。

3. 資質向上、業務の効率化を図る

- ①研修や事例検討会を定期的実施する。（認知症の人の尊厳の保証）
- ②新人ケアマネの実習受け入れ、協力体制を構築。（ハラスメント対策の強化）
- ③広域連合、三国包括支援センターなどの研修に積極的に参加し、事業所内で周知・共有を図る。